

ときがわ町 議会だより



No. 81

令和8年4月24日



平保育園入園式

ときがわ町民憲章

都幾川の清流は、豊かな森林や人々の歴史を育み、水と緑に囲まれた町「ときがわ」を作りました。先人から受け継いだ人と自然のやさしさを未来へ伝えるために、この美しい町に愛着と誇りをもって、私たちはこの憲章を定めます。

- 1 清らかな水と豊かな緑に調和した、快適で安全な町をつくります
- 2 人々が健康で共に支え合う、笑顔と優しさの広がる、温かい町をつくります
- 3 歴史と伝統に学び、新たな文化を創り出す、心豊かな町をつくります
- 4 子どもたちを健やかに育み、夢と希望に満ちた、明るい町をつくります
- 5 勤労に誇りとよろこびを感じる、活気あふれる町をつくります



みかんちゃん
いこいの里大附

目次

2月臨時会及び1月臨時会報告	2～5
3月定例会報告	
令和8年度予算	6～10
令和7年度補正予算など	11～12
審議した議案と各議員の賛否	13
その他報告	14
一般質問（5名）	15～17

任期満了に伴う改選により、11名の議員が選出され、2月27日に開催された第2回臨時会において、新たな議会構成が決まりました。議会構成に係る人事案件のほか、町長提出議案3件、同意1件、選挙2件を審議し、すべて原案のとおり可決承認しました。

令和8年
第2回臨時会

2月27日

議会の構成が変わりました



議長 小宮 正



副議長 神山 俊

議長就任あいさつ

この度、議員各位のご推挙を賜り、ときがわ町議会議長の重責を担うこととなりました。町民の皆さまの負託を厳粛に受けとめ、その使命と責任の重大さに身の引き締まる思いであります。

二元代表制の一翼を担う議会は、町民の代表機関として、町政を監視・評価するとともに、政策提言を通じて持続可能なまちづくりを推進する役割を担っております。

私は、公正かつ円滑な議会運営に努め、幅広い世代に関心を持っていただける開かれた議会の実現に全力を尽くしてまいります。

人口減少対策、地域経済の活性化、防災・減災の強化など、本町を取り巻く課題は多岐にわたっております。それらの課題に対し、議員各位、町執行部と力を合わせ、建設的な議論を重ねながら、町民福祉の向上に取り組んでまいります。

今後とも、町民の皆さまのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。



2月臨時会

議会構成

議長	小宮 正				
副議長	神山 俊				
総務産業建設 常任委員会	委員長	田中 紀吉	委員	小室 初江	笠井 洋昭
	副委員長	畑 豊		高橋 浩美	小宮 正
	所管：総務課、政策財政課、税務会計課、農林環境課、商工観光課、建設課、水道課、選挙管理委員会、監査委員、公平委員会、農業委員会及び固定資産評価審査委員会に関する事項並びに他の常任委員会に属さない事項				
文教厚生 常任委員会	委員長	野原 和夫	委員	神山 由絵	小野田 直幸
	副委員長	小島 利枝		神山 俊	
	所管：町民健康課、福祉課及び教育委員会に関する事項				
議会運営 委員会	委員長	畑 豊	委員	田中 紀吉	
	副委員長	小島 利枝		野原 和夫	
	所管：議会の会期日程等の議会運営に関する事項及び議長の諮問に関する事項				
議会報編集 委員会	委員長	神山 俊	委員	神山 由絵	小野田 直幸
	副委員長	高橋 浩美		小室 初江	笠井 洋昭
	所管：議会報の編集に関する事項				

小川地区衛生組合議会議員	小宮 正	野原 和夫
比企広域市町村圏組合議会議員	小宮 正	畑 豊
議会選出の監査委員	小島 利枝	

令和7年度補正予算

議案第8号

専決処分の承認（一般会計補正予算（第5号））

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1,009万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ69億9,737万円とする。

○歳入

選挙費委託金

1,009万円

○歳出

衆議院議員選挙執行事業

1,009万円

条例の一部改正

議案第9号

情報公開条例等の一部改正

令和元年に「工業標準化法」が「産業標準化法」に改正されたことに伴い、そのもとで定められている「日本工業規格」が「日本産業規格」に改められたことから、条例の一部を改正するもの。

【問】「日本工業規格」が「日本産業規格」に改めら

れたとのことだが、その中の違いは。

【答】「日本産業規格」はデータやサービス等の分野を標準化の対象として「日本工業規格」に追加したものの。

その他の議案等

議案第10号

過疎地域持続的発展計画

「過疎地域持続的発展計画」は、ときがわ町が令和4年4月1日に過疎地域として公示されたことにより策定されたもので、現行計画の期間が令和8年3月31日をもって満了することに伴い、次期計画へと更新するもの。

【問】前回の計画との変更点は。

【答】計画の目標値を前計画策定以降の人口推移を元に変更した。

【問】過疎債活用についての考えは。

【答】過疎債は元利償還金の7割が次年度以降に交付税措置されるため、そのメリットを活用して、住民の

2月臨時会・1月臨時会

生活環境を整えながら、町長の公約でもある「ワクワクするまち ときがわ」を実現していく。

【問】 過疎債を活用する上で、財政運営計画はあるのか。
 【答】 財政運営計画については、現在策定を進めている。基本的には、過疎債の借入れ上限を毎年4億円に設定し、シミュレーションを行っている。

同意第2号

教育委員会委員の任命

令和8年3月24日をもって任期満了となる大島紀夫氏の後任として赤岩文雄氏を任命することに同意する。

選挙第5号

選挙管理委員会委員の選挙

指名推薦の方法により、次の4名を当選人とした。

根岸 稔 氏
 柴崎 秀雄 氏
 八木原孝造 氏
 岩田 功夫 氏

選挙第6号

選挙管理委員会補充員の選挙

指名推薦の方法により、

次の4名を当選人とした。

関根 實 氏
 須永 清一 氏
 市川 勝己 氏
 小野田 豊 氏

令和8年 第1回臨時会 1月23日

令和7年度 補正予算

議案第7号

一般会計補正予算（第4号）

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ、1億8,530万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ69億8,728万円とする。

○歳入

国庫支出金 1億8,166万円
 財政調整基金繰入金 364万円

○歳出

※物価高対応子育て応援手当支給事業として、

0歳～18歳までの子どもを対象に1人あたり2万円支給

2,357万円

※食料品等物価高騰暮らし応援商品券発行事業として、住民1人あたり1万5,000円分の商品券を発行

1億5,733万円

※令和8年度新入学児童・生徒世帯支援事業として、小・中学校に入学する児童・生徒のいる世帯を対象に児童・生徒1人あたり3万円の現金を給付

440万円



その他の議案等

議案第1号

木のむらキャンプ場の指定管理者の指定

木のむらキャンプ場の管理運営に関する指定管理者に「木のむら管理委員会」を指定する。

議案第2号

大野特産物販売所の指定管理者の指定

大野特産物販売所の管理運営に関する指定管理者に「木のむら管理委員会」を指定する。

【問】 赤字が続いているが、町は今後、どのような指導を行っていくのか。

【答】 キャンプ場との連携や農産物、林産物など特色を生かして改善を図っていく。

議案第3号

やすらぎの家の指定管理者の指定

やすらぎの家の管理運営に関する指定管理者に「やすらぎの家管理委員会」を指定する。

議案第4号

建具会館の指定管理者の指定

建具会館の管理運営に関する指定管理者に「建具会館運営委員会」を指定する。

館運営委員会」を指定する。

【問】 経営的に問題があるのではないか。

【答】 3年赤字の状態だが、改善していくよう町も指導助言を行っていく。

議案第5号

木のむら物産館の指定管理者の指定

木のむら物産館の管理運営に関する指定管理者に「埼玉中央農業協同組合」を指定する。

議案第6号

財産の取得（学校給食センターの配送車の購入）

学校給食センターで使用する給食配送車2台を購入するもの。

【問】 国庫補助金はあるのか。

【答】 ない。

【問】 業者引き取りの費用はどのくらいか。

【答】 2台税込み55万円。

【問】 売り払うという考えは無かったのか。

【答】 売り払う計画は無く、下取りを含めた契約となっている。

2月臨時会・1月臨時会

令和8年 第2回臨時会 審議した議案と各議員の賛否

※「○」は賛成、「×」は反対、「-」は議長

議案番号	議案名	神山由絵	小野田直幸	小室初江	笠井洋昭	高橋浩美	畑豊	神山俊	小島利枝	田中紀吉	野原和夫	小宮正	審議結果
選任第1号	常任委員会委員の選任 総務産業建設常任委員会、文教厚生常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	選任
選任第2号	議会運営委員会委員の選任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	選任
議案第8号	専決処分の承認(令和7年度一般会計補正予算(第5号))	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第9号	情報公開条例等の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第10号	過疎地域持続的発展計画	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
同意第1号	監査委員の選任 小島利枝議員を選任する	○	○	○	○	○	○	○	除斥	○	○	-	同意
同意第2号	教育委員会委員の任命	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	同意

※読みやすくするため、議案件名を一部省略しています。

※除斥…議会における審議の公平性を期すため、議題になった案件と一定の利害関係にある議員は、その審議に参加することができません。

令和8年 第1回臨時会 審議した議案と各議員の賛否

※「○」は賛成、「×」は反対、「-」は議長

議案番号	議案名	畑豊	杉田健司	長島金作	小島利枝	田中紀吉	山中博子	小宮正	岩田鑑郎	野原和夫	神山俊	審議結果
議案第1号	木のむらキャンプ場の指定管理者の指定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第2号	大野特産物販売所の指定管理者の指定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第3号	やすらぎの家の指定管理者の指定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第4号	建具会館の指定管理者の指定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第5号	木のむら物産館の指定管理者の指定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第6号	財産の取得	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第7号	令和7年度一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決

※読みやすくするため、議案件名を一部省略しています。

65億1,577万円 万円 (0.7%減)

令和8年
第1回定例会

3月4日～3月13日

令和8年度当初予算審査を特別委員会へ付託

令和8年度
一般会計予算

3月定例会では、町長提出議案18件、同意1件を審議し、すべて原案のとおり可決承認しました。
なお、一般質問には5名が登壇し、活発な議論が展開されました。

◎議会費

議員研修事業 95万円

◎総務費

新庁舎維持管理事業
(設計委託料) 738万円

新庁舎維持管理事業
(設備改修工事) 261万円

新県議会議員選挙執行事業 270万円

新財務会計システム改修委託料 1,096万円

拡ふるさと納税管理事務 611万円

新七重町有林獣害防護柵設置業務委託 172万円

新運行・整備管理業務委託

(交通対策事業)

2,386万円



ときがわ町町営バス

バス路線確保対策費補助金 4,500万円

デマンド交通確保対策費補助金 3,855万円

◎新総合振興計画策定委託

1,152万円

スマートフォン講座業務委託 65万円

デジタルラボ推進事業 3,990万円

◎民生費

拡放課後児童健全育成事業費補助金 6,093万円

管外保育事業 1,042万円

特別保育事業補助金 2,337万円

◎新乳児等通園支援事業

960万円

保険基盤安定負担金 (保険税軽減分) 4,140万円

保険基盤安定負担金 (保険者支援分) 2,484万円

◎新戦没者追悼式実施事業

126万円

高齢者補聴器購入費助成金 30万円

◎衛生費

新健康増進計画策定支援業務委託 48万円

新第3次ときがわ町環境基本計画策定業務委託 423万円

一般廃棄物収集運搬業務委託 9,086万円

上水道施設一般管理事務高料金対策補助金 7,000万円

小川地区衛生組合 (塵芥処理) 負担金 1億5,522万円

小川地区衛生組合 (し尿処理) 負担金 6,375万円

◎農林水産業費

新桃木池ため池防災工事

3月定例会

令和8年度 特別会計予算

議案第23号 国民健康保険特別会計

14億5,979万円

○主な歳入

国民健康保険税

2億2,773万円

財政調整基金繰入金

2,664万円

○主な歳出

保険給付費

10億8,966万円

国民健康保険事業費納付金

3億3,121万円

保健事業費

2,493万円

議案第24号 後期高齢者医療特別会計

2億3,669万円

○主な歳入

後期高齢者医療保険料

1億8,552万円

繰入金

4,966万円

○主な歳出

後期高齢者医療広域連合納付金

2億3,168万円

議案第25号 介護保険特別会計

13億2,399万円

○主な歳入

保険料

2億8,949万円

国庫支出金

2億5,004万円

支払基金交付金

3億4,478万円

県支出金

1億9,661万円

繰入金

2億4,043万円

○主な歳出

保険給付費

12億5,107万円

地域支援事業費

3,769万円

議案第26号 関口茂八翁奨学事業特別会計

2,356万円

令和8年度 事業会計予算

議案第27号 水道事業会計

収益的収入

3億8,475万円

収益的支出

3億5,591万円

資本的収入

2,799万円

資本的支出

1億8,647万円

○主な歳入

高料金対策補助金

7,000万円

物価高騰対策水道料金減免補助金

2,500万円

議案第28号 浄化槽事業会計

収益的収入

1億6,114万円

収益的支出

1億5,231万円

資本的収入

1,065万円

資本的支出

4,483万円

歳入の主な質疑

◆政策財政課・税務会計課

問 今後は、財産の売払い、ふるさと納税及び寄附金による歳入財源の確保も行っていくべきではないか。

答 本町は財政収入力に乏しいため、財政調整基金や合併振興基金等を取り崩して予算を編成している現状である。今後は、基金等に頼らない財政体制にして

くべきと考えている。

問 町民法人税の減及び固定資産税の増の要因は。

答 町民法人税の減は、物価材料費の高騰及び人件費の増加による減額。

固定資産税の増は、新築の家屋を約30棟見込んでいたため。また、償却資産で、大型機械の入替が2社で750万円ほどあったため。

歳出の主な質疑

◆総務課

問 旧社会福祉協議会事務所及び書庫構造調査及び構造計算業務委託が計上されている理由は。

答 令和5年度、改修面積が総壁面積の2分の1以下の改修工事であるため建築確認の必要はないと判断し実施した。しかし、改修面積に疑義が生じたため、埼玉県建築安全センターへ相談したところ、2分の1以上であるため建築確認が必要であるとの指摘を受けた。建築当初の構造計算書は残

存しておらず、新たに構造調査と構造計算を行う必要が生じたため。

問 消防団福利厚生事業交付金の内容は。

答 消防団員の研修費補助とコロナ禍で中止していた消防団員家族研修の再開のための費用。

問 防災無線線管理事業の保守点検委託の増額理由及び固定系屋外拡声子局老朽化調査の内容は。

答 保守点検委託料の増額は、令和7年度、弓立山基地局の更新に伴い例年の2回の点検から1回の点検であったのに対し、令和8年度は通常通り2回の点検を行うため。

問 固定系屋外拡声子局老朽化調査は、子局83局が設置から10年が経過し、保守点検の期間を超過しており、補修工事の優先度を確認するため、83局全て調査するもの。

◆政策財政課

問 本町のDX化推進につ

3月定例会

いて、1年間どのような取り組みを行っていくのか。

答 バックヤード改革として、これまで導入してきたシステムを使用した事務効率の改善、職員向けのAI研修に取り組む。

フロントヤード改革として、公式LINEの開設(乗合タクシーの予約やデジタル定期券の販売を今後予定)。

地域のDX推進による町の賑わい創出として、観光施設においてスマホから予約及び支払いができるシステムの導入を検討している。

問 「総合振興計画」を策定するにあたり、住民アンケートや区長等に対して実施したアンケートを活用する予定はあるのか。また、シンプルな計画にできないのか。

答 令和7年度に実施した住民アンケート及び区長等に対して実施したアンケートについて分析して活用する予定。計画については、町全体の10年間の方針を定める計画なので、住民に分かりやすい計画を策定して

いく。

◆町民健康課

問 アピアランス支援事業費補助金の内容は。

答 ウィッグや乳房補正具等の購入費用に対する補助を見込んでおり、補助限度額はそれぞれ1万円である。

問 予防費が減額になっている。PRの方法も含め、アプリの活用や外部の意見を取り入れていく必要があるのではないかと。

答 令和8年度に予定している計画策定の中で、町民の方や団体の代表の方などの意見を取り入れていく。アプリの活用については本年度からALKOOマイルなどを導入した。アンケートなどもスマホから回答できるよう工夫をした。

◆福祉課

問 児童遊園地遊具修繕工事の具体的な内容は。

答 令和7年度に実施した安全点検で指摘された8か所の遊具について修繕を行

うものである。施工場所は、二本木児童遊園地、根際児童遊園地、原地区児童遊園地、田黒児童遊園地、小倉児童遊園地、六区文化会館児童遊園地、五明第一分館児童遊園地、桃木児童遊園地の遊具で、経年劣化等による修繕である。



田黒児童遊園地

問 新設の乳児等通園支援事業の内容は。

答 保護者の就労の有無や理由を問わず、生後6か月から満3歳未満までの保育所等に通っていない子どもを対象に、1人あたり月10時間まで保育所等を利用できる制度。令和8年度から全国的に開始。

◆農林環境課

問 環境推進委員は責任が

重く、ごみ減量化の取り組みが進むほど負担が増える仕組みになっている。仕組みの見直しについて、環境推進委員の意見を聞きながら検討できないか。

答 環境推進委員は、ごみステーションの管理、ごみ分別カレンダーの配布、廃棄物(リチウムイオン電池等)の発火事故防止啓発などの他に、地域ごとの様々な問題や課題の解決に当たっていたらいており、負担が大きいのは承知している。

今後は、少しでも負担軽減に繋がるよう、ごみ処理の方法、収集方式、分別方法などについて意見を伺いながら対応を考えていく。

問 農林水産業者の所得向上・生産物の付加価値向上に直接結びつく施策が少ない印象がある。

生産時期・品目の集中、中間的な保存・保管機能の欠如、販路の課題など、農業・林業の持続性に向けた長期的な計画が不足していると感じるが、次世代に繋げるための具体的な計画策定と、その計画に基づく予

算措置の考えは。

答 農業者支援補助金については、昨年より増額している。農業・林業者の所得向上のためには、県との連携や農林振興センターを活用しながら支援策を検討し、担い手育成を近々の課題として取り組んでいく。

◆商工観光課

問 「山椒プロジェクト事業」の概要は。

答 「総合振興計画」に基づき農産物の特産化を進めるもので、収量調査からはじめ商品開発、販売実証実験を実施し、法人化を目指し、事業展開をしていく。

問 「ぶらっと、ときがわ」のリニューアル業務委託について、リニューアルの内容は。

答 若年層をターゲットに現在のニーズに合わせた内容へ更新するとともに、町内に店舗が増加していることなどから、ときがわ町の最新情報を届けられるようにリニューアルするものである。



◆建設課

問 ラジコン式草刈機の使用か所が、限定的にならないか。

答 対象となる除草作業は水辺の道をはじめ、道路沿い、河川敷、公園など広範囲である。また、草刈機は、会計年度任用職員が運用していくほか、ボランティア団体への貸し出しも検討していく。

問 「都市計画マスタープラン」及び「立地適正化計画」策定の詳細は。

答 「都市計画マスタープラン」は、法律に基づく都市計画の基本的な方針で、概ね20年後を見越した長期

的な視点で将来の都市像や土地利用方針を示すものである。

また、「立地適正化計画」は、人口減少社会を見据えた都市のコンパクト化や公共交通のネットワーク構築を進めるための計画で、双方の関連性が高いため一括して2か年度で策定するものである。

◆教育総務課

問 町立小中学校における特別教室のエアコン設置工事費用は令和12年度までに毎年、概算でどれほどかかる見込みか。

答 毎年5,000万円程度を想定している。

問 体育館へのエアコン設置の費用についてはどの程度を想定しているか。

答 近隣の状況を見ると1億3,000万円程度で推移している。

問 中学校統合について、トップダウンも必要と考える。体育館へのエアコン設置前に統合についての検討

委員会を早期に設置する考えは。

答 学校統合については、令和8年度に検討組織の立ち上げを行うとともに、学校の適正規模についても検証を行う。その結果により各校へのエアコン設置を検討する。スピード感をもって進めたい。

問 都幾川中学校プールの劣化対応は。

答 都幾川中学校プール大規模工事の予算は計上していない。大規模となる場合には明覚小学校プールをセクタープールとして位置づけているため、明覚小学校のプールを使用することとなる。

◆生涯学習課

問 放課後児童クラブに放課後子供教室を統合できないか。

答 統合について、やまびこ、萩ヶ丘小学校、福祉課及び生涯学習課の4者で意見交換を行ったが、学童入所家庭と放課後子供教室参加家庭では事情が異なり、

放課後子供教室を廃止しても学童入所児童数は増加しないだろうという結論から統合は行わず現状維持をしていくこととなった。

特別会計の主な質疑

◆国民健康保険特別会計予算

問 成果が上がってきていると考えられる取組は。

答 健診の受診率を上げる取組を最優先に実施している。また、ALKOOマイレージなど幅広く事業を実施している。

◆介護保険特別会計予算

問 予算額が前年度比で3.3%の増額。年々3%程度増加しているがその要因は。

答 保険給付費の増によるもの。

◆関口茂八翁奨学事業特別会計予算

問 返済期間が短いことや、貸付額が過剰であるなどの問題があるのではないか。

また、返済について検証を行い寄り添う努力はして

いるのか。

答 貸付額及び返済期間については、条例で定めるとおりで、返済計画も町から提案する期間は貸与期間の2倍の期間を設定し、年間返済額を少なくするよう寄り添っている。

また、返済の無い方には、連帯保証人に対し滞納状況を知らせる通知を発送するなど、多方面から返済を促している。

事業会計の主な質疑

◆水道事業会計予算

問 他会計補助金の営業外収益があることで黒字化されているが、他会計補助金がないと実質的には赤字である。この赤字について、今後どのような対応を行うのか。

答 一般会計からの繰入がなくなると、現状では水道料金を上げるしかない。本町は、地形的に水道事業を行う上で不利な条件である。工夫や努力ではどうにもならない部分があるため、一般会計から繰り入れている。

3月定例会

令和7年度 補正予算

議案第16号

一般会計補正予算(第6号)

歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ8,059万円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ69億1,678万円とする。

○主な歳入

地方交付税

1億3,024万円

財政調整基金繰入金

△4,455万円

過疎対策事業債

△1億9,940万円

○主な歳出

集会所管理事業

△1億3,978万円

減債基金積立事業

2億9,762万円

システム標準化・共通事業

△3,998万円

土地改良施設等応急修繕事業

△1,757万円

○ 剰余金を財政調整基金ではなく、減債基金に積んだ背景は。

○ 債務の償還シミュレーションを行った結果、今回

は減債基金の積み増しを行うこととした。

○ 財政調整基金と減債基金のバランスについてはどのように考えているのか。

○ 現在の運用指針としては、財政調整基金の残高を8億円から10億円の間で確保することを第一に考えている。

議案第17号

国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ800万円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ15億2,692万円とする。

○主な歳入

国民健康保険税

1,332万円

県補助金

△2,090万円

○主な歳出

療養給付費

△2,126万円

議案第18号

後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ879万円

を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ2億1,310万円とする。

○ 後期高齢者医療保険料

1,133万円

○主な歳出

後期高齢者医療広域連合納付金

936万円

○ 全体の予算規模からみて、補正額が大きいのでは。

○ 保険料と納付金は、埼玉県の広域連合会で算定している。

議案第19号

介護保険特別会計補正予算(第4号)

歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ4,579万円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ13億2,682万円とする。

○主な歳入

介護給付費交付金

△3,859万円

○主な歳出

施設介護サービス給付費

△2,260万円

一般会計介護給付費繰入金

△568万円

議案第20号

水道事業会計補正予算(第3号)

収益的収入の予定額に923万円を追加して、収入合計を3億8,290万円、収益的支出の予定額に114万円を追加して、支出合計を3億4,024万円とする。

(資本的)

資本的収入の予定額から1,653万円を減額して、収入合計を3,423万円、資本的支出の予定額から1,085万円を減額して、支出合計を2億2,136万円とする。

○主な歳入

施設介護サービス給付費

△2,260万円

一般会計介護給付費繰入金

△568万円

地域密着型介護サービス給付費

△1,734万円

○ 減額補正の項目が多いが、ある程度予算を多めにみているということか。

○ 介護認定者数が増加傾向にあることを踏まえて、予算を組む必要があるため。

議案第21号

浄化槽事業会計補正予算(第3号)

収益的収入の予定額から487万円を減額して、収入合計を1億5,738万円、収益的支出の予定額から289万円を減額して、支出合計を1億5,597万円とする。

(資本的)

資本的収入の予定額から791万円を減額して、収入合計を226万円、資本的支出の予定額から924万円減額して、支出合計を3,355万円とする。

条例の一部改正

議案第11号

事務手数料条例の一部改正

D Xの推進に伴い、証明書などの送付に係る実費相当額の徴収及び還付についての要件を明確化するため、条例の一部を改正するもの。

○ 修繕費増額の背景は。

○ 主な支出は、漏水修繕

○ 修繕費増額の背景は。

○ 主な支出は、漏水修繕

○ 修繕費増額の背景は。

○ 主な支出は、漏水修繕

○ 修繕費増額の背景は。

○ 主な支出は、漏水修繕

○ 修繕費増額の背景は。

○ 主な支出は、漏水修繕

○ 修繕費増額の背景は。

○ 主な支出は、漏水修繕

○ 修繕費増額の背景は。

○ 主な支出は、漏水修繕

○ 修繕費増額の背景は。

○ 主な支出は、漏水修繕

○ 修繕費増額の背景は。

○ 主な支出は、漏水修繕

3月定例会

【問】電子申請をして、書面の証明書を送付してもらうための手数料との認識でよいか。

【答】書面の証明書が郵送で送付されることに伴う手数料。

議案第12号

国民健康保険税条例の一部改正

【問】埼玉県国民健康保険運営方針に基づく保険税水準の統一化に向け、段階的に税率の改正を行う必要がある。また、子ども・子育て支援金制度創設に伴い、新たに子ども・子育て支援給付金を追加するため、条例の一部を改正するもの。

【問】被保険者の負担増がある中、町として保険税に対する金銭的な補助や負担軽減は検討したのか。

【答】段階的に税率の引き上げを行っているが、それでも生じている不足分については、基金を活用して負担軽減を行っている。保険税引き下げは難しいと考えている。

議案第13号

出産祝い金の支給に関する条例の一部改正

【問】出産に係る経済的な負担を軽減し、安心して出産できる環境を整えるために、祝い金の額を拡充し、一律10万円に改めるため、条例の一部を改正するもの。

【問】高く評価できる改正である。出生数の減少は町の最重要課題の一つであり、今後しっかりと分析をし、効果があるようであれば、増額も検討してもらいたい。

【答】まずは令和8年度、この事業として取組んでいく。

賛成討論

議案第13号 野原 和夫

出産祝い金について、私は一般質問をしている。前町長の提案を含めた条例改正で、対象者1人につき10万円ということ。今後出生率向上をも期待できると思うが、町としても、これを見える化して、出生率の向上人口増加対策に生かしていただくことを願う賛成討論とする。

議案第14号

重度心身障害者医療費支給に関する条例の一部改正

【問】重度心身障害者医療費支給事業に係る精神障害者保健福祉手帳2級所持者への対象拡大のため、条例の一部を改正するもの。

【問】対象者の人数は。

【答】現在の対象者は351名。今回対象が拡大となり、2級の方が82名、合計で433名となる見込み。

条例の廃止

議案第15号

温泉スタンド条例の廃止

【問】温泉スタンドの源泉ポンプが故障したが、今後は更新しないため、条例を廃止するもの。

【問】温泉スタンド廃止後の計画は。

【答】売却の公募を行う予定でスケジュールの検討を行っている。今後、募集要項の公表を考えている。

その他の議案等

同意第3号

副町長の選任

令和8年4月1日付で副町長に、大山澄男氏を選任することに同意する。

議会報告会のお知らせ

令和8年5月17日（日）午後2時から（終了予定時刻午後4時）、ときがわ町文化センター（アスピアたまがわ）において、議会報告会を開催します。令和8年度予算の説明及び意見交換会を予定しています。詳細につきましては、4月24日（金）の全戸回覧及び町ホームページをご確認ください。



議会の動き

1月



大野くん

- 7日 議会報編集委員会
- 13日 議会議員全員協議会
- 16日 議会議員全員協議会
- 22日 比企郡町村議会議員研修会
- 23日 議会運営委員会 第1回臨時会

2月



ときのこちゃん

- 9日 初議会前議員懇談会 任期開始
- 26日 第2回臨時会
- 27日 議会運営委員会 議員懇談会

3月



しょうじくん

- 3日 議員懇談会
- 4日 議会議員全員協議会 第1回定例会開会（本会議 4日、13日）
- 5日 予算特別委員会（4日、5日、6日、9日、12日）
- 12日 議会報編集委員会
- 23日 議会議員全員協議会 議員懇談会 議会報編集委員会

審議した議案と各議員の賛否

令和8年 第1回定例会 審議した議案と各議員の賛否

※「○」は賛成、「×」は反対、「討」は討論、「－」は議長

議案番号	議案名	神山 由絵	小野 田直幸	小室 初江	笠井 洋昭	高橋 浩美	畑 豊	神山 俊	小島 利枝	田中 紀吉	野原 和夫	小宮 正	審議結果
議案第11号	事務手数料条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	可決
議案第12号	国民健康保険税条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	－	可決
議案第13号	出産祝い金の支給に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	可決
議案第14号	重度心身障害者医療費支給に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	可決
議案第15号	温泉スタンド条例の廃止	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	可決
同意第3号	副町長の選任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	同意
議案第16号	令和7年度一般会計補正予算（第6号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	可決
議案第17号	令和7年度国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	可決
議案第18号	令和7年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	可決
議案第19号	令和7年度介護保険特別会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	可決
議案第20号	令和7年度水道事業会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	可決
議案第21号	令和7年度浄化槽事業会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	可決
議案第22号	令和8年度一般会計予算	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	－	可決
議案第23号	令和8年度国民健康保険特別会計予算	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	×	－	可決
議案第24号	令和8年度後期高齢者医療特別会計予算	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	－	可決
議案第25号	令和8年度介護保険特別会計予算	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	－	可決
議案第26号	令和8年度関口茂八翁奨学事業特別会計予算	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	－	可決
議案第27号	令和8年度水道事業会計予算	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	－	可決
議案第28号	令和8年度浄化槽事業会計予算	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	－	可決

※読みやすくするため、議案件名を一部省略しています。

小川地区 衛生組合議会報告

令和8年2月12日に第1回定例会が開催され、管理者提出議案4件全て可決承認された。

一般職の職員の給与に関する条例の一部改正

人事院勧告及び埼玉県人事委員会勧告に準じ、一般職の職員の給与改定を行うもの。

ごみ焼却場設置条例の一部改正

令和3年度末をもって閉止したごみ焼却場の解体を進めるにあたり、設置条例上の廃止を行う必要があることから、制定するもの。

令和7年度一般会計補正予算

歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ4,314万円を減額し、歳入歳出予算の総額を17億6,725万円とする。

令和8年度一般会計予算

歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ19億3,829万円と定める。

比企広域市町村圏 組合議会報告

令和8年2月13日に第1回定例会が開催され、全ての議案が可決承認された。主な内容は、

○監査委員の選任

伏守勝義氏を議選監査委員に選任するもの。

○林野火災の和解

令和7年2月18日、嵐山町大字杉山地区において訓練準備中に発生した林野火災の和解が成立し、548万円を賠償するもの。

○斎場の設置及び管理運営に関する条例の一部改正

東松山斎場の関係市町村以外の住民に係る使用料について、人件費や光熱水費の高騰、県内の公設斎場における使用料との均衡に鑑み、一部引上げを行うもの。

○令和8年度予算

一般会計7,700万円、消防特別会計36億6,700万円、斎場及び霊きゅう自動車事業特別会計2億4,000万円、介護認定及び障害支援区分審査特別会計7,350万円、公平委員会特別会計60万円。

令和8年度当初予算に関する

要望書を町長へ提出しました

当町の今後のまちづくりについて議員間で議論を重ね、令和7年10月20日に令和8年度当初予算に関する要望書を町長へ提出し、令和7年12月17日に町から回答がありました。

町回答

令和7年度においてスクールバス等による登下校の取り扱いは、玉川小学校区内において、対象を新たに3年生まで拡大する地区を増やすなど、既に対応している。

要望

夏季における熱中症対策として、小学校送迎バス運行及び使用の柔軟な対応について。

令和8年度当初予算については、柔軟に対応できるよう、予算の拡充を図る。

一般質問とは

一般質問は、議員が町の行財政全般にわたって、執行部に対し疑問点をただしたり、政策の変更、是正、あるいは新規施策の提案などを行うことです。

ときがわ町議会では、質問は一問一答方式であり、一議員あたり質問、答弁を含めて60分以内の制限があります。

また、質問議員に対して執行部側から質問ができる反問権が認められています。

※各議員のQRコードをスマートフォンやタブレットで読み取ると、一般質問の録画配信をご覧いただけます。



のラビたん



プレミアム給食

問 水道基本料金無料化及び町内簡易水道に対する考えは。

答 水道基本料金の無料化については、国の動向や財政状況を見ながら実施していく。簡易水道組合についても今後の対応について検

問 3歳未満児保育料の無料化は。

答 今後財政状況等をみながら検討していく。

問 補聴器購入費の10万円補助は。

答 今後財政状況等をみ

問 路線バス休止区間の全路線再開は。

答 交通事業者やときがわ町地域公共交通活性化協議会からの意見を検討しながら進めていく。

問 地区集会所での月イチ

ビジョンと公約について
「ワクワクときがわ」 神山 俊

町長 まずは、令和8年4月から小中学校の児童生徒
徒分の学校給食費の無償化を実施する



朝市開催については。

答 それぞれの地区の実情に合わせて形で取り組み、町としては大きな財政負担を伴わない形で行っていく。

問 森林環境譲与税の有効活用については。

答 今後は、林業の担い手確保や人材育成といった事業に活用していく。

町の考えを問う

5議員が一般質問に立つ

全質問事項

神山 俊

1. ビジョンと公約について
—ワクワクときがわ—

田中 紀吉

1. ワクワクするときがわ町とは、具体的にどのような町なのか
2. 通学路の区画線更新について
3. 学童保育への支援・保育料の軽減について

野原 和夫

1. 選挙公約の実行性について
2. 0歳～2歳児の保育料無償化を
3. 蓄電ステーションの設置及び管理等に関する条例制定を

笠井 洋昭

1. 投票環境の確保と投票所統廃合の影響について
2. 財政調整基金の今後の見通しについて

小島 利枝

1. 公共施設使用料の設定について
2. 動物との快適な共生について
3. 更年期の男性・女性を支える対策を

3月定例会の傍聴人数

3月 4日(水) 5名
3月 13日(金) 24名

議会を傍聴しませんか
次回の定例会は
6月2日(火)に開会予定です。

学童保育への支援・保育料の軽減を

田中紀吉



町長 活動場所の改善に向けて検討する



ひとり親世帯及び多子世帯に対する減免のための加算をしており、一律に減免する予定はない。

通学路の区画線更新について

区画線更新の進捗は。

年間約1,000万円の予算を確保し、通学路及びバス路線を優先しながら、区画線の視認性の低下した



学童保育所「ときがわしいの子会」の児童数増加に伴い、組織としての分離は実施したが、施設整備は未実施となっている。施設整備の計画は。

現在、「第2しいの子会」は、体育センター会議室を一般利用し、活動している。町では、既存公共施設の活用や新築を含めて、「第2しいの子会」の活動場所の検討を行ったが、小中学校の統合に伴う学童保育所の在り方、町の財政面への影響等の課題を考慮し、

結論に至っていない。
保育料が高く、利用を躊躇っているとの声を聴くが、減免の考えは。
令和7年度は、総額5,749万円の学童保育運営費補助金を交付している。また、生活保護受給世帯、

※「町長のビジョンと公約」についても質問した。

選挙公約の実行性について

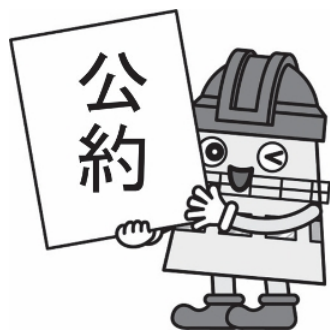
野原和夫



所得制限を撤廃し、全ての世帯を対象とする考えはあるか。

当町の財政状況等をみながら今後検討していく。

蓄電ステーションの設置及び管理等に関する条例制定を



水道基本料金の無償化について。

仮に基本料金を1年間全額減免すると1億円かかる見込みである。財源については、一般会計より繰り入れることとなる。減免期間が終了した場合、減免分

については利用者負担に戻る形になる。

浄化槽管理費の17,000円補助について。

検討研究を始めたばかりである。町設置型と個人設置型浄化槽を合わせ4,500万円の費用が見込ま

れる。今後検討する。

路線バス休止区間の全路線再開について。

特別交付税の算定対象となる運行形態を中心に検討を進めていく。

0歳～2歳児の保育料無償化を

近隣の自治体と連携を図りながら前向きに検討する。



体育センター

問 合併20年が経過したが、使用料見直し状況は。
答 公民館、体育施設、文化センターにおいて見直しは行っていない。
問 町統一方針の使用料設定基準を策定しては。
答 前向きに検討していく。

問 動物との快適な共生について
問 相談に対する対応は。
答 飼い主が特定できる場合は適正飼育の徹底指導、不妊去勢手術実施の助言。特定できない場合は、具体

的な対応について説明。
問 飼い犬のふん尿被害に「イエローチョーク作戦」に取り組んでみては。
答 他自治体の取り組みを参考に検討していく。
問 さくらねこ事業の現状は。

問 猫の繁殖抑制と地域ト
答 ラブルの軽減を目的としたTNR活動の取り組みにより累計298頭の不妊去勢手術を実施。
問 更年期の男性・女性を支える対策を
問 更年期への対策は。
答 女性は県の相談窓口への案内や、症状や対処法等の情報提供。男性の更年期については認知度が低く、まずは知ってもらうこと、チェックリスト等で周知を進める。

公共施設使用料の設定について 小島利枝



問 財政調整基金を含む基金残高全体の現状認識について。
答 過去10年、将来支出に備え保守的な運営、基金の積み上げを行ってきたため現在の金額は標準財政規模に対し90%前後の水準にあ

り、県内でも優良な状況にあると考えている。
問 負債（借金）残高についての現状認識は。
答 将来支出等に備え借金残高を確実に減らしており、地方交付税での返済も考慮すると現状の実質借金残高

は16億円前後まで縮小している。
問 基金残高があり借金も圧縮できている今こそ将来に向けた投資をスピード感をもって実行すべきでは。
答 皆さんの意見を聞きつつ、最後は町長の判断で早

期に進めていきたい。
問 投票環境の確保と投票所統廃合の影響について
問 今後の投票環境の整備について。
答 大野地区、柗平地区の住民にとって不便となることを想定し、貸切りタクシーを用意したが利用者数が非常に少ない。周知徹底、移動投票所など他の自治体の例を参考に対応を検討する。

財政調整基金の今後の見通しについて 笠井洋昭



町長 物価の情勢などを見ながら適切な基金管理に努めていく



委員会構成員を紹介します

議会には2つの常任委員会と、議会運営委員会、議会報編集委員会があります。

総務産業建設常任委員会



左から 小宮 正 高橋浩美
委員長 田中紀吉 副委員長 畑 豊
笠井洋昭 小室初江

文教厚生常任委員会



左から 神山 俊 小野田直幸
委員長 野原和夫 副委員長 小島利枝
神山由絵

議会運営委員会



左から 野原和夫 委員長 畑 豊
副委員長 小島利枝 田中紀吉

議会報編集委員会



左から 笠井洋昭 小野田直幸
副委員長 高橋浩美 委員長 神山 俊
小室初江 神山由絵

編集後記

新年度を迎え、町はあたたかな春の陽気に包まれて
います。

町議会議員一般選挙を経て、議員構成も新しくなりました。

本号は議会報編集委員会
が手がけた最初の「議会だ
より」です。内容の中心は、
3月の定例会で可決承認さ
れた「令和8年度予算」。

予算に組み込まれている
費用はすべて、誰かの安心
と幸せのためにある。そん
なふうにと考えると、紙面に
並んでいる数字が、こちら
にほほえみかけてくるよう
に感じます。

編集委員一同で協力し、
助け合いながら進めた初め
の編集作業が、実り多い
時間になったことに感謝で
す。

議会報編集委員会

委員長 神山 俊
副委員長 高橋 浩美
神山 由絵
小野田直幸
小室 初江
笠井 洋昭

この議会だよりは、
議員の自主編集で発行しています。

防災行政無線テレホンサービス（無料）
Tel 080-0800-8432（携帯電話からも可）

